

市議団速報

e-mail:info@jep-niigata-shigidan.com NO98号

2014年10月13日
日本共産党
新潟市議会議員団
電話 025-226-3450
FAX 025-223-7748

議員団の一般質問（概要） （明戸議員・五十嵐議員の質問を掲載します。）



明戸和枝議員

子ども子育て支援制度と 高校教科書問題

質問 来年4月実施の子ども子育て新制度では、小規模保育の場合、無資格の保育者で良い、調理も外部搬入を認めるなど要件緩和した。市は規模にかかわらず認可保育園基準を下回らないようにすべき。今後の施設整備はニーズ調査で一番希望の多い認可保育園を基本に整備すべき。

答弁 地域型保育園の認可にあたっては、国基準通りとし、施設整備については昨年度実施したニーズ調査の結果を踏まえ、認可保育園の整備を優先して考えていく。

質問 高校日本史教科書の来年度選定では、市立1校を含む

め県内11校で「国旗・国家」の公務員への強制の記述を理由として実業出版を排除している。県教委・市教委の指示はなかったのか。

答弁 基本方針に基づき各学校から選定された教科書について、教育委員会は適正かつ公正に採択している。



五十嵐完二議員

BRT計画と 第2朱鷺メッセ構想

質問 青山の結節点や新潟駅の乗降車場整備のための工事は暫定であり、市役所の結節点も必要か疑問である。このような計画で、結節点整備などの契

約を進めようとしている。市長選挙直前に入札を行うのではなく、選挙の中で市民の声を聞くべきではないか。

答弁 平成27年度の開業に向けて、事前の習熟運転などの期間を見込みながら、また結節点の整備を完了させるための必要な作業を考慮して、入札を進めていく。

質問 現在の朱鷺メッセ展示ホールの稼働率は60%であり、当初計画に程遠い状況である。その朱鷺メッセに近接して、さらに大きな展示場を造ることについて、どのような展望を持っているのか。

答弁 展示の主催者の意見なども踏まえて、事業規模や事業効果などをしっかり確認し、市民の理解を得て、方向性を決めていきたい。

【9月議会】議案に対する日本共産党議員団の態度

議案 95号・100号・103号・104号の4議案については反対し、他の議案については賛成しました。（反対理由は下記の通り）

議案第95号は、小規模保育事業のA・B型保育園の満1歳～3歳未満の保育士数が、市の認可保育園の配置基準を下回ることから反対しました。

議案第100号は、国家戦略特区により、農地法第3条に係る農地等の権利移転に係る事務を農業委員会から市長に移し、そのために「新潟市農地効率的利用促進審査会」という付属機関を設置するもので、農業委員会の権限が縮小し、農地の企業参入のための仕組みを作ることから反対しました。

議案第103号・104号は、「合併前の旧市町村の料金体系を引き継いだ体育施設の使用料を統一する」との名目で行なう根拠のない収支率などの理由に、住民に負担を強いるものであることから反対しました。



議員団日程

10月14日（火）決算分科会
10月15日（水）決算分科会
10月16日（木）決算分科会
10月17日（金）決算分科会